

2024～2025 年度クラブ運営方針
「生み出そう感謝される喜びを」

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB



2024 年（令和 6 年）10 月 9 日（水）
第 1645 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (犀川 美佐緒 SAA)



●開会点鐘 (田畑 勝久会長)

●ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱



●本日のお客様



一般社団法人
昭島観光まちづくり協会
事務局長 堀井 真理子様



木村 辰幸様
(東京立川ロータリークラブ)

●会務報告 (田畑 勝久会長)



皆さん、こんばんは。10月6日（日）に行われた昭島市長選挙で、臼井市長が再選されました。臼井市長は、かつて当クラブの会員です。今後のご活躍を期待しています。

本日、来年2月から例会場となる西武信用銀行昭島支店に、本田クラブ管理運営委員長をはじめ、SAA、親睦の各委員長、副委員長と共に見学に行ってきました。建物は築10年以内にもかかわらず、新築のように綺麗で、さすが扶桑建設の施工によるものだと感じました。なお、屋上の施工は私が担当しています。建物は非常に広いのですが、工事が少し必要になるかもしれません。いくつかの課題もありますが、お弁当やケータリングに関しては、親睦委員会だけに任せるのではなく、今月23日に約10名で炉辺会議を開き、決めていく予定です。皆様のご協力をいただければ幸いです。

●幹事報告 (岡野 和弘幹事)



地区より12月11日（水）18:30より横浜グランドインターコンチネンタルホテルにて開催される「Heal the World チャリティーディナー」のご案内が届いております。参加資格は地区の出席対象者以外ではクラブ会長（パスト会長、現会長、会長エレクト）及び

パートナーとなっております。10月16日（水）が登録の締め切りです。クリスマス例会と同日ですが、興味がある会員は事務局までお問い合わせください。

先日の例会でご案内しました11月23日（土・祝）に行われる国際ソロプチミスト昭島主催の「徳永ゆうきチャリティーランチコンサート」ですが、締め切りの10月20日（日）が近くなっており、参加を希望する会員は事務局まで申し付け下さい。

●卓話「昭島観光まちづくり協会について」
昭島観光まちづくり協会 事務局長堀井 真理子様

講師紹介（重森 元樹プログラム委員長）



10月のロータリーは「社会と地域社会の経済発展」月間ということで、一般社団法人観光まつり協会の事務局長である堀井麻里子様にお話をいただきます。こちらの協会は、星野初代会長が現在相談役として関わっている団体で、私も微力ながら役員として関わらせていただいております。ぜひ堀井様のお話をお聞きいただき、まだ会員でない方がいらっしゃいましたら、観光まちづくり協会の会員になっていただければ幸いです。

卓話



まずは、私の自己紹介をさせていただきます。私は昭島市立武蔵野小学校、昭和中学校を卒業しました。大学を卒業後、三井住友海上火災保険という損害保険会社で約10年間勤務し、出産を機に退職しました。板橋区に2年間、横浜市に13年間住み、現在は昭島市に居住しています。観光まちづくり協会に勤務して12年目になります。もう少し個人的なお話をさせていただきますと、横浜に住んでいた際に離婚し、シングルマザーとして3人の子育てをしていました。2011年3月の東日本大震災を機に、実家の近くに住んだほうが子どもたちも安心できるだろうと考え、こちらに戻ってきました。趣味は合唱で、上手になりたいと思い、4年ほど前から声楽も習っています。また、月に1回、山歩きもしています。そして、ここ数年は福山雅治の熱狂的なファンで、彼の追っかけをしています。

観光まちづくり協会についてご紹介させていただきます。私たちは昭島の魅力を発信し、地域を活性化することを目指しています。以前、臼井市長も「訪れてみたい、住んでみたい、住み続けたい、働きたい」とおっしゃっていましたが、私たちは「住み続けたい町」と「誇れる町」を目指して活動しています。具体的には、郷土芸能やお祭り、街歩き、観光案内所の運営、カレンダーの作成、そしてロケ地誘致やワークショップの実施など、さまざまな活動を行っています。従来の事業としては、まず郷土芸能祭があります。今年の5月25日、26日には市制施行70周年記念として前夜祭も含め盛大に開催し、4万人以上の方にご来場いただきました。また、毎月1回のペースで街歩きイベントも開催しており、これまでに109回行っています。名所旧跡の紹介や市内農産品のPR、企業訪問なども行っており、今は福生ハムと共催で街歩きイベントを実施しています。

昭島観光案内所（昭島駅北口）の運営も行っており、年間約1万4000の方が訪れています。マンホールカードを集めるために昭島を訪れる方も多く、昨年度は2912枚を配布し、今年度は3000枚を超える見込みです。これは地域活性化の一つのツールとして大変効果的です。他にも、写真募集イベント「みんなで作ろう昭島カレンダー」を開催しており、皆様から応募いただいた写真で翌年のカレンダーを作成しています。今年度も800部ほどのカレンダーを販売予定ですので、ぜひお買い求めください。入選作品は市役所や拝島駅などで展示しています。

その他にロケーションサービスですが、昨年1年間で

問い合わせ件数が1000件以上、撮影実績が100件近くありました。皆さんも市内で撮影している風景を見かけたことがあるかと思いますが、廃校をはじめ、最近人気の撮影場所は「アキシマエンス」です。「アキシマエンス」は月曜日のみが休館日で、短いスケジュールの撮影の場合は、平日の開館前の時間を利用して撮影に協力しています。また、市民エキストラも登録制で行っており、昭島での撮影では市民エキストラの方がボランティアとして無料で協力していただける点も強みで、撮影誘致につながっています。10月8日時点で、市民サポーターの登録数は約1300名です。毎年1回、エキストラ登録会も実施し、市民の皆様や市外の方にも昭島でロケが行われていることをPRしています。

さらに、近年はお子様向けの体験型ワークショップも開催しています。今年の夏には「家具の博物館の学芸員になってみよう」という体験会を行いました。そして、今月末には「ご当地おにぎり作りワークショップ」を開催します。拝島ネギ味噌を使ったおにぎりを作る体験です。もしお知り合いに興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけください。この「ご当地おにぎり」ワークショップは、東京観光財団からの依頼で、11月に開催されるイベントで「ご当地おにぎりを作ろう」という趣旨で始めました。料理雑誌「オレンジページ」とコラボして、拝島ネギ味噌を使ったレシピを考案し、それを基におにぎり作りの体験を行います。

また、地域への貢献として、中学校の職場体験の受け入れや出張授業、産業祭への出店も行っています。今年は市内5校の中学校の職場体験を受け入れ、特別支援学級の生徒も参加しました。彼らは非常に熱心で、パソコン操作などのスキルは他の生徒よりも高く、驚かされました。さらに、福生市の中学校2校も受け入れ、町歩きや観光案内所での体験、SNSでの情報発信などに協力してもらいました。

昨年度からは、東京観光財団の支援を受け、新たな取り組みとして、大学のゼミと連携した地域課題解決ワークショップとプロボノ人材の活用を行っています。プロボノとは、専門性を持つ社会人が無償で知識やスキルを提供する社会貢献活動のことです。これらを活用して、観光協会の課題解決を目指しています。昨年度は、明治大学政治経済学部と連携し、大学生向けに企業訪問やまち歩きイベントを実施しました。今年度は、東洋大学国際観光学部と協力し、「昭島らしさ」をテーマにデジタルコンテンツの制作とSNS発信を行っています。今後、観光まちづくり協会と東洋大学がコラボしたInstagramも発信予定です。その他にも、動画班やAI班などに分かれて、昭島の発信に取り組んでいます。また、もう1つ協力している大学として、立教大学法学部のゼミがあります。こちらでは、「昭島の水を活かした食のブランディング構築」をテーマに、7月から9月にかけて昭島を巡り、問題点や魅力を分析していただきました。分析結果として、「情報の伝え方が不明確」「交通手段が不便」といった課題が浮かび上がり、その解決策として「大人のカフェ巡りマップの作成」に取り組んでいます。また、広い公園が多いという特性を活かして「防災キャンプの親子体験」の提案もいただきました。

プロボノ人材の活用についてですが、こちらも昨年から取り組んでいます。昨年度は「法人会員拡大に向けた中長期戦略の策定」をテーマに、会員や法人向けにアンケートを実施し、会員の意見を集めました。また、会員募集のチラシもプロボノの方々との協力でリニューアルしました。アンケート結果に基づき、1月から5月にかけて4回の小規模な会員交流会を開催し、先月26日には昭和館で第5

回会員交流会を実施し、46名の方にご参加いただきました。引き続き、プロボノ人材の協力のもと、活動を続けています。

今年度は「水の町として昭島が認知されること」をテーマに、3名のプロボノ人材を新たに採用しました。マンホールカードの配布時にはGoogleアンケートを実施し、昭島を訪れた方々の意見を収集しています。その結果、「深層地下水100%」について7割の人が知らないという事実が判明しました。また、無料で給水できるスポットの存在も8割が知らないことが分かり、昭島の水に関する認知度が低いことが明らかになりました。

今後は、「水マチ昭島」をブランドコンセプトとして、水と深層地下水100%を活かした様々なプロモーション展開を検討しています。デザイン案として、「水マチ昭島」の下に食や静けさなどのキーワードを配置し、ビールやコーヒーといった具体的な商品に結びつける構想も進めています。これらの展開は、プロボノの方々とのオンラインミーティングを通じて進行中です。

昨年度から開始した新しい取り組みを継続しつつ、市外からも多くの人々を昭島に引き込み、関わってもらう活動を進めています。1人ずつ地道に昭島の魅力を伝えるとともに、昭島を広く宣伝するための仕掛け作りにも力を入れていきたいと考えています。具体的な例として、明治大学の学生が昭島を訪れた際に「とても良かったので、ゼミ活動とは別に友人を連れて再度訪れた」という話がありました。このように、昭島を知らない人が実際に来て、その魅力を感じてくれることが重要です。そして、その魅力がまた他の人に伝わることで、昭島の良さが広がっていくと考えています。今後も地道な活動と仕掛け作りを積極的に進めていきたいと思っています。

謝辞（岩本 勝宏会長エレクト）

堀井様、本日はお忙しい中お越しいただきありがとうございました。非常にわかりやすいお話で、観光協会の方々がこれほど多岐にわたる活動をされていることに驚きました。お忙しい中とは思いますが、今後も昭島のためにどうぞよろしく願いいたします。



●ニコニコBOX

（宇田川 泰弘親睦委員）



◎田畑会長

昭島観光まちづくり協会堀井事務局長、卓話ありがとうございました。

・岡野幹事

堀井真理子様、本日は活動内容等のお話ありがとうございました。木村辰幸様、本日はメイクありがとうございました。

・重森会員

昭島観光まちづくり協会、堀井事務局長、本日はありがとうございました。

●出席報告

（神野 次郎出席委員）



会員数 54名

出席義務会員 53名

本日の出席 38名

●委員会報告

（石岡 純親睦委員長）



※親睦旅行について

●次週例会予定

（宮下 幸司プログラム委員）



10月20日（日）・21日（月）
親睦旅行

※10月16日（水）
RI規定による休会

※10月23日（水）
親睦旅行 振替休会

●閉会点鐘

（田畑 勝久会長）